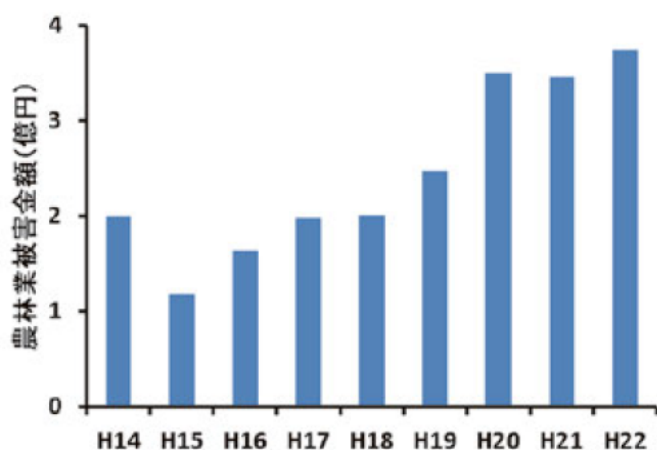


# 三重県におけるシカの生息状況と森林被害

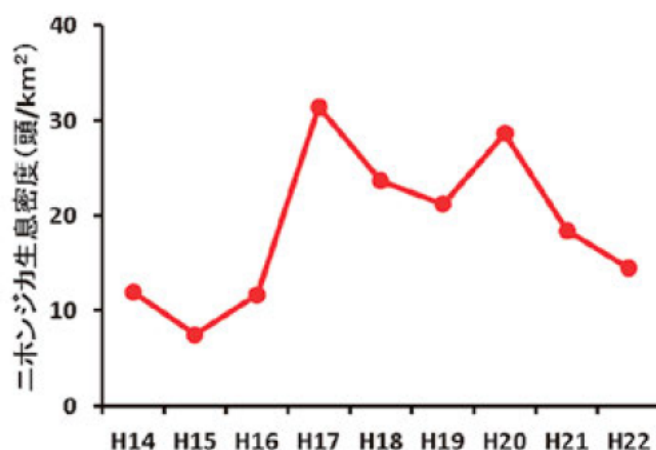
## － 出猟報告データから分かること－

### 増加するニホンジカと農林業被害

- 平成14年度以降、ニホンジカによる農林業被害額は年々増加しています。
- ニホンジカの生息密度はここ数年減少傾向にありますが、依然として高い生息密度を維持しています。



農林水産部獣害対策課調べ



農林水産部獣害対策課調べ

### ニホンジカによる森林・林業被害

- ニホンジカによる造林木の被害として、植栽木の枝葉食害、成木の皮剥ぎ被害があります。
- 森林の被害として、林床に生育する植物の枝葉食害、地面の踏み荒らしがあります。



成木の皮剥ぎ被害



植栽木の枝葉食害

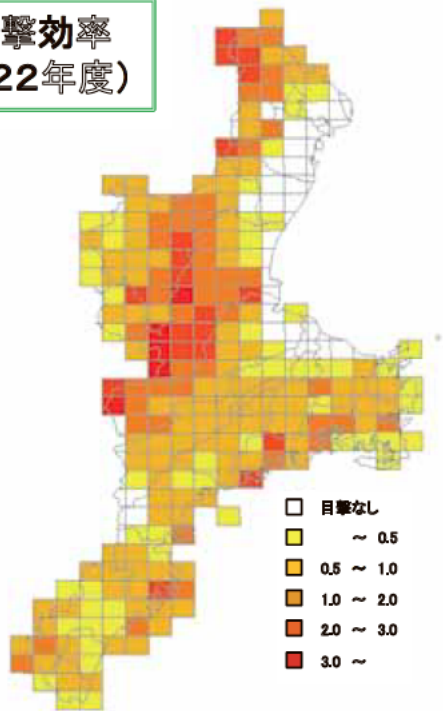


林床植物の枝葉食害

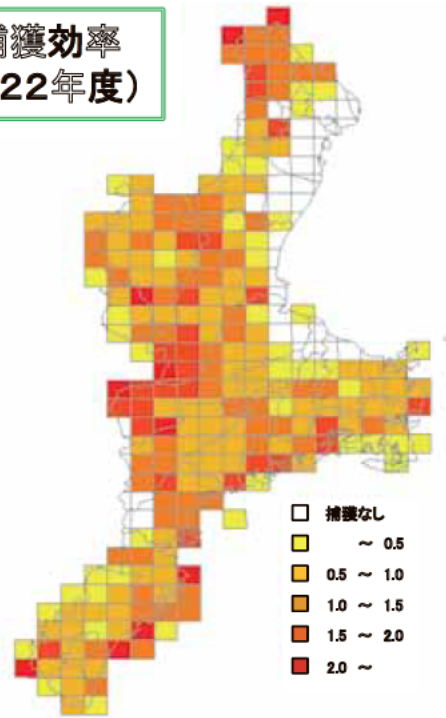
## 出猟報告からニホンジカの生息状況、捕獲状況

- 狩猟者の皆様から報告いただいた出猟報告をもとに、目撃効率 (SPUE) や捕獲効率 (CPUE) を算出しました。
- 目撃効率は、出猟者 1 人あたり 1 日あたりのニホンジカ目撃数を表します。
- 捕獲効率は、出猟者 1 人あたり 1 日あたりのニホンジカ捕獲数を表します。
- これらの数字が大きいほど、シカ密度が高いことを表します。

目撃効率  
(H22年度)

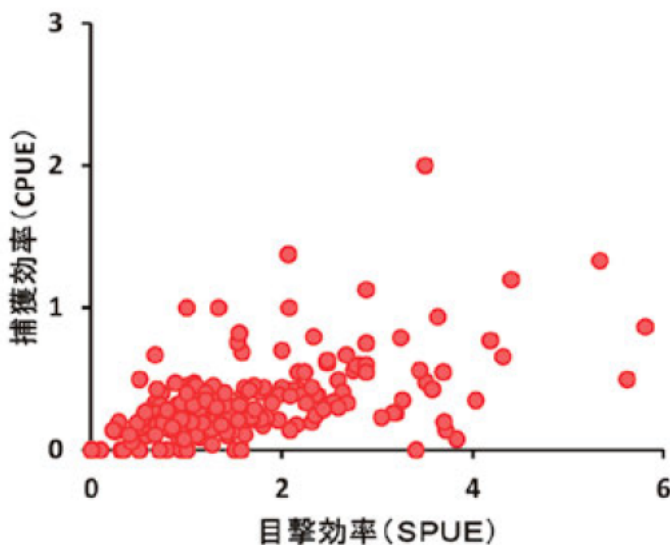


捕獲効率  
(H22年度)



## ニホンジカ生息密度と捕獲努力の関係

- ニホンジカの日撃数が多い (目撃効率が大きい) 場所では、捕獲努力が大きい (捕獲効率が大きい) 傾向にあります。



平成22年度出猟報告より作成

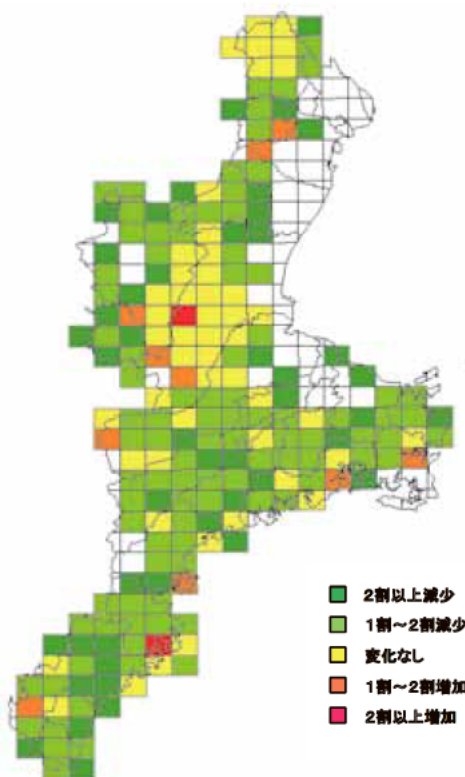


くくりわなによるニホンジカの捕獲

くくりわなは傾斜の急な森林内でも使用することが可能です。

## ニホンジカ目撃効率の変化(平成14年度と平成22年度の比較)

■平成14年度と平成22年度の目撃効率を比較すると、シカの日撃が低下している地域と増加している地域があります。



### ◎シカの日撃が増加した地域

鈴鹿山脈の北部  
布引山地周辺(津市、伊賀市)  
台高山脈北部  
熊野灘沿岸地域

### ◎シカの日撃が減少した地域

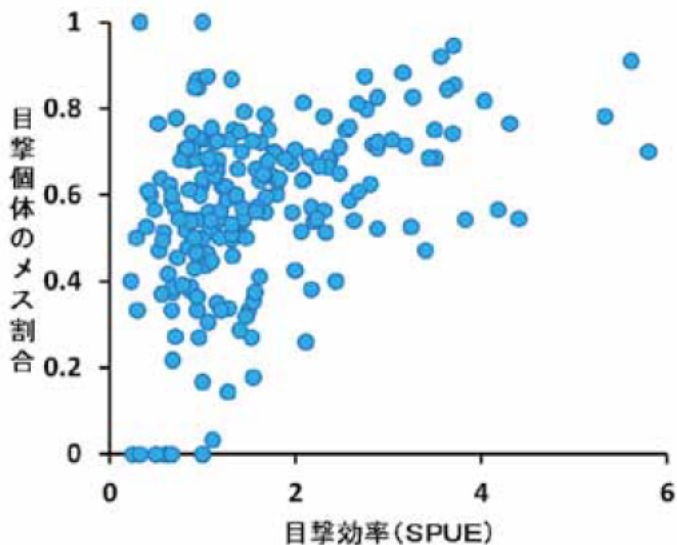
鈴鹿山脈の南部  
伊賀地域の西部  
宮川以南の地域(沿岸部を除く)

### 特徴

近年の捕獲を推奨する施策の効果が表れ、目撃数が減少しています。

## ニホンジカの日撃効率とメスジカの日撃割合

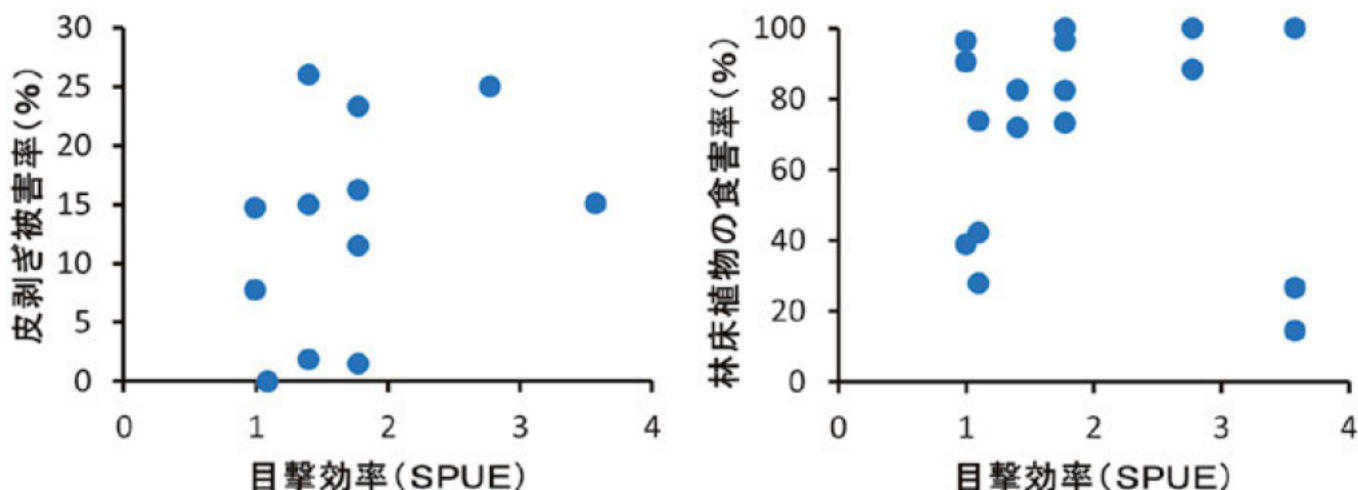
- ニホンジカの日撃数が多い地域では、メスジカの日撃割合が高くなります。これは、ニホンジカが繁殖期を除きメスと仔の集団で生活するためです。
- ニホンジカの密度を下げるためには、シカの日撃数が多い地域でメスジカを優先的に捕獲することが重要です。



林縁部に出現したメス集団

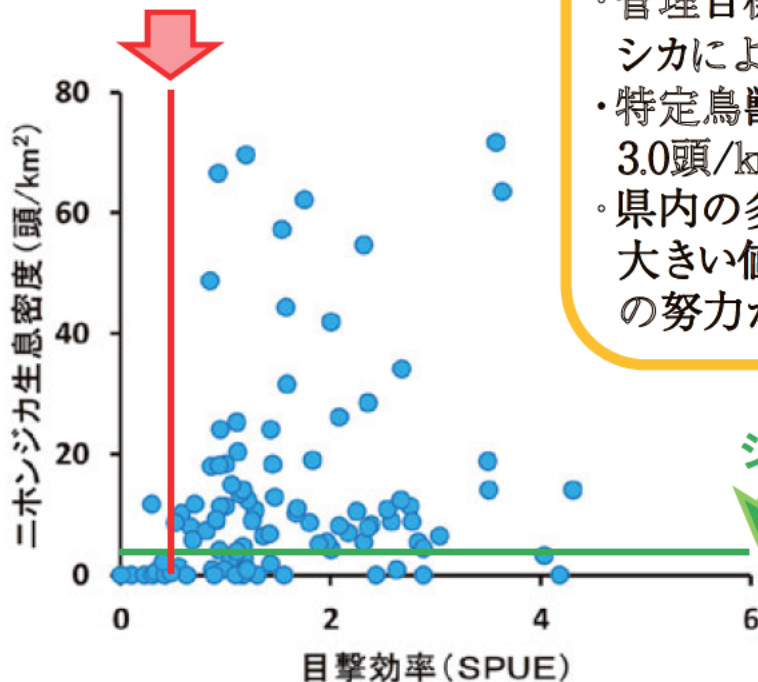
## ニホンジカ目撃効率と造林木の皮剥ぎ害、林床植物の食害の関係

- 三重県内6ヶ所にニホンジカ被害モニタリング調査地を設定し、ニホンジカ生息密度と森林被害の関係を調査しました。
- 目撃効率が1.0を超えると、皮剥ぎ被害率や林床植物の食害率が高くなってきます。



## 目撃効率におけるニホンジカ生息密度の管理目標値

目撃効率0.5のライン



### 目撃効率における管理目標値

- ・管理目標値を0.5に設定すると、シカによる森林被害を軽減できます。
- ・特定鳥獣保護管理計画の管理目標値3.0頭/km<sup>2</sup>を満たします。
- ・県内の多くの地域で目撃効率は0.5より大きい値を示しています。さらなる捕獲の努力が必要です。

シカ生息密度3.0頭/km<sup>2</sup>のライン

三重県林業研究所

〒515-2602 三重県津市白山町二本木3769-1

TEL 059-262-0110 FAX 059-262-0960

<http://WWW.mpstpc.pref.mie.lg.jp/RIN/>